

継1 ～多文化共生社会の構築を推進する事業～

1. 多文化共生社会づくり推進事業

(1) 多文化共生のまちづくりサポート事業

① 多文化共生オフィス運営事業

・多言語相談窓口運営

多文化共生オフィスにおいて、次のとおり多言語での相談及び法律、出入国に関する相談業務を実施しました。また、必要に応じて外国籍児童とその保護者のための教育相談を受け付け、情報提供、アドバイスを行いました。

相談件数 5,835件

多文化共生オフィスオープン時間 9:00～20:00

●日本語、英語、中国語	随時	9:00～20:00
●中国に関する相談 *	毎週火曜日	13:00～17:00
●ドイツに関する相談 *	毎週水曜日	13:00～17:00
●韓国に関する相談 *	毎週木曜日	13:00～17:00
●カナダに関する相談 *	毎週金曜日	13:00～17:00
●タガログ語相談	第2水曜日	13:00～17:00
●スペイン語相談	第1金曜日	13:00～17:00
●韓国人のための生活相談	第3水・木曜日	13:00～17:00
●中国人のための生活相談	毎週水・金・日曜日	13:00～18:00
●出入国管理法及び難民認定法に関する相談 **	第1水曜日	13:00～15:00
●外国人のための無料法律相談 **	第3土曜日	14:00～16:00

* 熊本市国際交流員相談

** 前日の午前中までに予約が必要

・市政だよりの多言語化

情報（語学）ボランティア登録者を活用し、毎月、市政だよりの生活・催し・健康の中から在住外国人にとって必要な情報を多言語（英語、中国語、韓国語）に翻訳しHP上へ掲載しました。

・各種メルマガの配信

KIFの主催するセミナー・交流会・講座の他、民間国際交流・協力団体が実施する催し物情報を、毎週1回、KIFニュースとしてインターネットで配信しました。

KIFニュース登録者数649人

・あんしん・あんぜん災害・生活情報 eメールマガジン

携帯メールを利用して、在住外国人向けに災害時に英語、中国語、韓国語の多言語で情報提供する「あんしん・あんぜん 災害・生活情報 eメールマガジン」に登録いただいた外国の方々に、災害時だけでなく、定期的に生活情報・イベント情報を配信しました。

配信頻度 随時（但し、生活情報等は毎月10日配信）

登録者 331人

（内訳：英語 195人、中国語 53人、日本語 83人）

② 多文化共生月間事業

- ・多文化共生写真展「各国の移民事情」

期 間：平成28年2月9日～2月28日

場 所：国際交流会館 1Fエントランスホール

内 容：多文化共生セミナーに合わせ日本の移民政策の現状とCIR出身国（カナダ・ドイツ・中国・韓国）の移民政策を比較できるパネル展示を行いました。併せてKIFの多文化共生の取り組みや熊本市の在住外国人の現状及び在留資格等の資料展示、外国人向けに行った日本文化体験（書道）作品展示も行いました。

- ・多文化共生セミナー ～多文化共生を考える～移民？難民？考える！～

移民受入先進国の政策・施策から今後の熊本に於ける多文化共生社会推進に必要なことを学び・考える多文化共生セミナーを開催しました。

日 時：平成28年2月27日（土）13:30～16:30

場 所：国際交流会館 7F メインホール

参加人数：130人

《基調講演》

「ドイツの移民政策～課題と展望～」

基調講演者 インゴ・カールステン氏（大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事）

《パネルディスカッション》

「外国人と共に暮らす多文化社会を考える」

（パネリスト）

中島 眞一郎氏（コムスタカ・外国人と共に生きる会）

申 明直氏（熊本学園大学 教授）

インゴ・カールステン氏（大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事）

（ファシリテーター）

羽賀 友信氏（長岡市国際交流センター長）



③ 地域サポート事業

・多文化共生ソーシャルワーカー活動

各区役所保健子ども課の依頼に応じ、赤ちゃんのいる外国人家庭を直接訪問し、多言語による支援を行いました。加えて、異国での子育てによるストレスや不安に対してのアドバイスや子供の成長に合わせた教育等のサポートを行うとともに、生活全般の情報提供を行いました。

また、外国人の個々の課題に応じ、その問題解決までを、関係団体と協力のもと実施しました。生活保護課の要請に基づき、居住の支援から生活再建に向けたサポートを行ったり、文化の違いによるトラブルなど解決までサポートしたり多文化ソーシャルワーク活動を行いました。

件数：56件

国籍 \ 分野	赤ちゃん 訪問	就労	生活 保護	保健 衛生	幼児 保育	教育	在留 資格	医療	その他	計
バングラデシュ	6	1		2						9
中国	3			2		5		1		11
インドネシア	3							1	1	5
ヨルダン	2			1						3
タンザニア	2									2
シリア	1									1
アフガニスタン	2				16					18
エジプト	1								1	2
フィリピン	1		1				1			3
ベトナム										0
韓国	1									1
不明									1	1
計	22	1	1	5	16	5	1	2	3	56

④ 医療通訳ボランティア派遣制度

メディカルサポート熊本と協力し、医療通訳ボランティア養成講座を修了したボランティアを提携する医療機関へ派遣しました。また、提携外医療機関からの要請に対しては、ボランティアの状況や派遣までのシステム等医療機関側に理解していただき派遣しました。

平成28年3月現在の提携医療機関は、国立病院機構熊本医療センター、熊本大学付属病院、熊本市市民病院。

派遣件数：25件（うち国立病院機構熊本医療センターからの依頼 21件）

(2) 日本語支援事業

① 暮らしのにほんごくらぶ

在住外国人が熊本で生活する上で必要な日本語をマスターし、地域社会の生活に早く順応できるよう、日本語会話や日本の生活習慣を学ぶ「暮らしのにほんごくらぶ」を行いました。日本語学習をサポートするボランティアと、一対一を基本として学習を行うと共に、日本文化体験や交流会などを実施しました。

活動日：毎週 火曜日 10:00～12:00
水曜日 10:00～12:00, 14:00～16:00,
18:30～20:00
日曜日 10:00～12:00, 14:00～16:00

参加学習者数：延べ3,277人

ボランティア活動者数：延べ3,190人

場 所：国際交流会館 2F ミーティングルーム、
2F 交流ラウンジ

交流会（対象：学習者とボランティア）

●月見団子づくり

日 時：平成27年9月27日（日）13:00～15:30

場 所：国際交流会館 4F 第3会議室

参加人数：45人

●年末交流会

日 時：平成27年12月20日（日）12:00～16:00

場 所：国際交流会館 4F 第3会議室

参加人数：95人

●茶道体験（初茶会）

日 時：平成28年1月10日（日）10:00～16:00

場 所：国際交流会館 5F 茶道室

参加人数：61人

●書道体験（書き初め）

日 時：平成28年1月20日（水）12:30～/13:30～

場 所：国際交流会館 B2F 多目的ルーム

講 師：KIFサポートセンターボランティア

参加人数：13人

●お花見交流会

日 時：平成28年3月27日（日）12:10～15:00

場 所：熊本城付近

参加人数：約90人



② 初級日本語集中講座

正式に日本語を学習したことがない在住外国人を対象に、集中的に日本語の基礎（動詞文、名詞文、形容詞文及び動詞、形容詞の活用等）を学習する講座を開講しました。

今年度は、これまで同様1日6時間の6日間コースと午前中3時間の6日間と初日と週末を1日6時間の3日間計9日間のコース設定を行いました。

期 間：1) 平成27年9月3～9日（6日間コース） 参加人数：5人
2) 平成27年11月28日～12月6日（9日間コース） 参加人数：8人
3) 平成28年2月27日～3月6日（9日間コース） 参加人数：9人
※最終日は成果発表会＆交流会を実施

講 師：日本語教授法有資格者

畠山 真一氏、岩谷 美代子氏、定永 祐子氏、竹村 朋子氏、式 潤子氏、
大住 葉子氏、大仁田 文子氏

参加人数：22人

③ 生活日本語支援ボランティア研修会

開催日：平成28年2月28日（日）

場 所：国際交流会館 4F第2会議室

講 師：羽賀 友信氏

（長岡市国際交流センター「地球広場」センター長）

参加者：生活日本語ボランティア15人

④ 地域日本語教室 武蔵丘・健軍教室

〈健軍教室〉

開催日：第1,3,4火曜日 10:00～11:30

場 所：よって館ね（健軍商店街ピアクレスタ内）

講 師：生活日本語ボランティア

学習者：延べ60人（協力ボランティア数 延べ60人）

〈武蔵ヶ丘教室〉

開催日：毎週火曜日 10:00～11:30

場 所：ご近所くらぶよりみち（武蔵ヶ丘団地内）

講 師：生活日本語ボランティア

学習者：延べ374人（協力ボランティア 延べ154人）

参加費：300円（お茶代等）



（3）外国人のための防災事業

① 外国人の為の防災基礎情報セミナー

在住外国人・在住外国人コミュニティ代表者向けに防災時の基礎知識を学んでもらう防災基礎情報セミナーを下記のとおり開催しました。

開催日：平成28年3月20日（日）14:00～16:00

場 所：国際交流会館 2F交流ラウンジ

参加人数：19人（8カ国）

中国・韓国・フィリピン・インドネシア・バングラデシュ・ミャンマー
タイ・ベトナム

講 師：的場 幸雄氏・上妻 哲也氏（熊本市危機管理防災総室）

坂井 修氏・小森田 安信氏（熊本北警察署）

② 防災意見交換会

在住外国人コミュニティ代表が集まり防災・災害時対応ネットワーク構築及び防災・災害時に必要な情報及び効率的かつ確実な災害情報配信方法等について考え、意見交換を行いました。

日 時：平成27年11月28日（土）・12月5日（土）13:30～15:00

場 所：国際交流会館 2F NGO活動スペース

参加団体：

- ・熊本フィリピン人会 （代表 松田 アデラ氏）
- ・ロシア人コミュニティ （代表 ムヒナ・ヴァルヴァラ氏）
- ・熊本大学留学生会 （代表 リチャード・マリベ氏）
- ・熊本中国人留学生会 （代表 孫 敬軒氏）
- ・KIF （吉田 直・谷尾 陽子）

③ 外国人のための防災ラジオ放送や防災カードの配布

熊本シティエフエムにおいて、多言語（英語、中国語、韓国語、タガログ語）による防災情報を定期的に放送するとともに、国際交流会館で日本語を学ぶ外国人を始め、在住外国人グループリーダーを通じて、防災カードを配布しました。



④ 災害メール

生活情報メールマガジンの配信システムを活用し、今年度は夏に接近、または上陸した台風第6号、12号、15号等について「接近」、「避難勧告」、「上陸」、「避難勧告解除」等の情報を登録者に災害情報として日本語・中国語・英語の各言語で配信しました。

（４）外国籍の子どもの教育支援事業

① 進路ガイダンス

帰国者の呼び寄せや国際結婚などで来日する外国にルーツを持つ子どもたち及びその保護者を対象に日本の教育システムや高校受験の際の特別措置・配慮などについて詳しく説明をするガイダンスを実施しました。



日 時：平成27年7月12日（日）13:30～16:30

場 所：国際交流会館 4F 第1・第3会議室

参加人数：115人

（中学生20人、保護者21人、小中高教師20人、先輩高校生14人、
通訳10人、熊本県教育委員会3人、大学生ボランティア7人、スタッフ20人）

参 加 費：無料

② 外国籍児童のための教育サポート

外国にルーツを持つ子どもたちが増え、彼らの日本語教育に対する対応が受け入れ先で違ったり、学校に馴染めず不登校になったりしている現状について、教員や日本語教師等が集まり、情報交換を行うと共に、改善策、支援方法について話し合いを行いました。

義務教育期間における日本語指導が必要な外国籍児童に対し、先輩高校生達及び支援者が集まり、日本語の補講や生活相談等も行う「おるがったステーション」を国際交流会館において開催しました。

おるがったステーション

日 時：毎週日曜日 14:00～16:00

場 所：国際交流会館 5F 和室他

参加人数：延べ57人（日本、中国、台湾、ベトナム、キルギス、シンガポール、アメリカ、パキスタン、フィリピン）

支援者：日本語指導員11人、大学生サポーター14人、高校生サポーター1人、言語療法士1人

教育相談件数：10件



③ 連携事業：黒髪小学校・桜山中学校日本語センター校との連携

熊本大学留学生等の呼び寄せ家族が多く集住する黒髪校区に設けられた桜山中学校の日本語センターとの連携を図りました。特にイスラム教文化圏児童への文化背景サポート（食事、肌を見せる水泳など）が必要となるため、文化理解等を含めた説明会に協力しました。その他、熊本・外国ルーツの子ども支援連絡協議会を立ち上げ、外国ルーツの子どもたちの多い地域で研修会を開催しました。他、在日外国人生徒交流会へ活動費の一部を助成しました。

黒髪小学校日本語センター校閉校式 平成28年 2月26日（金）

外国ルーツの子ども支援研修会	平成27年 6月27日（土）熊本市国際交流会館
	平成27年 7月20日（月）八代ハーモニーホール
	平成27年 12月12日（土）菊池市七城公民館
	平成28年 2月20日（土）山鹿市鹿本市民センター
在日外国人生徒交流会	平成28年 3月26日（土）・27日（日）
	熊本YMCA帯山校、青年会館